

鶴の恩返し



郷土の偉人



平田鞆負像

鹿児島県にはいろんなタイプの地域がありこちらのニュースレターでも「鹿児島紀行」として私が廻った場所を紹介しておりますが、これからは郷土の偉人についても「郷土の偉人に学ぶ」という感じで取り上げて書いていきたいと思えます。

私は山下小学校出身で校区内に加治屋町があったため、学校内に心志室(しんしひつ)という郷土の偉人(特に幕末・明治期)や郷中教育について学び、心を静めるような絨毯張りの部屋がありました。

小学校の校訓も「負けるな」「うそを言うな」「弱いものをいじめな」というもので郷中教育の教えそのものでした。そのせいもあり郷中教育や西郷さん、大久保さんなど加治屋町出身の偉人や校区内に銅像がある平田鞆負(ゆきえ)の木曾川治水工事など小学校の時から教えられていました。

大人になってから知ったのですが、これらの教えは鹿児島の小学校で同じ様に学んでいるのだらうと思っていたのですが、他の小学校出身の方がたは学んでいない方がほとんどでした。正直ちょっとびっくりしました。

私が思うところではありますが、このコロナ後の世の中では、勉強して良い学校に行って、良い会社に入ったら安泰ということは無くなったと感じます。世の中の流れが早すぎて、超一流の会社でも10年20年後はどうなっているか解りません。

知識主体の勉強が出来て会社にぶら下がっている人よりも、学校の勉強はさほど出来なくても、自分で考え行動しその責任をとれる、自分という軸がしっかりしている人の方が、これからの世の中に対応していくのではないかと思います。

ですので小学校くらいまでの小さい時には、他国語である英語などの知識を詰め込むよりも先に、道徳や伝記など社会での生き方や人の生き様などを、自分の土台を形作るための養分となるような学びが大事なんじゃないかと思います。せめて地元の偉人の事くらいは知っておくべきだと考えます。

子供の時は解りませんでした。今は当時の山下小学校の先生方の教育方針に感謝しています。

それで私もこれから郷土の偉人を中心に取り上げさせていただこうと思いました。どうぞよろしくお願いたします。



大久保利通像



西郷隆盛像

~2022年鏡開きについて~

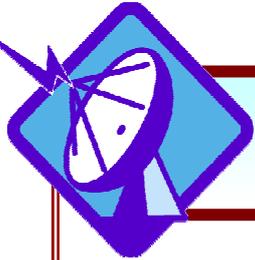


一般的に鏡開きは今年も1月11日です。何となくお正月には飾っていて何げなくカビがきたりしているのは、そのまま処分をしていた年もありました。この飾った餅って食べる意味あるのかなあ？といつも思っていました。なのでちょっと調べてみようと思いました。

鏡餅はお供え物というより年神様が宿るところだと考えられている為、鏡餅を開くことで年神様をお送りするという意味。※年神様とは祖先の霊が国の神や山の神になり正月には年神様となって子孫繁栄を見守ってくれるのだと考えていたようです。力の宿った鏡餅をいただく事でその力を授けてもらい1年の一家一族の無病息災を願うそうです。

あらためて鏡開きの意味もわかり、飾ったお餅は残さず皆でおいしく頂きたいと思います。そして今年一年も元気いっぱい笑顔でのりきりしましょう。

持留智子



これが気になる

世の中の気になることを
ピックアップ

「日本の資本主義の父」渋沢栄一の隠れたエピソードを紹介

■お札の肖像に選ばれなかった理由

2024年から1万円札の肖像になる渋沢栄一。実は過去にもお札の肖像に、という話はありませんでした。その理由のひとつは渋沢にヒゲがなかったことでした。ヒゲの表現には高い技術が必要で、以前は偽造防止にヒゲがある人物が選ばれることが多かったのです。

■岩崎弥太郎の三菱に対抗した渋沢

明治の物流において海運が主流でしたが、岩崎弥太郎の三菱汽船が独占していました。この状況に対抗するために渋沢栄一や井上馨が反三菱勢力を結集し、共同運輸会社を創設。しかし2社での値下げ受注合戦となり両社の体力を消耗させました。進出してきた外資に対抗するため、弥太郎の死後、共同で日本郵船を発足し、事業を行うこととなりました。

■多くの妻と隠し子がいた

大河ドラマでは詳しく描かれていませんが、渋沢は数人の妻を持ちながら、屋敷の女中にも手を出しており、関係を持った女性の数はわからないくらい多かったといわれています。いわゆる隠し子も相当数いたようですが、正確な数字は残っていません。しかし、これは渋沢だけでなく、明治初期の要職にいた男性にはよくあることだったようです。



お客様からのメッセージ



昨年のコロナ禍以降、経営に多大な影響を受けている会社が数多くあるのではないかと推測致します。

弊社もその中の1社に入りますが、そんな中でも「弊社は恵まれているなあ」と感じています。回収の必要がある容器を持って帰りますと、容器と一緒にメッセージが添えてあることが多々あります。大抵のメッセージには「ありがとうございました。」との一文が入っています。

弊社のほうがお客様に対して「ご利用くださり誠にありがとうございます。」と思っているのですが、代金を頂いた上にこのようなお言葉をいただいて、何とも幸せな仕事をさせて頂いている、恵まれている、と感じます。

大変な社会情勢となりましたがお客様方から元気をいただいております。これらのお客様に対していっそう誠実に対応し精進しなければという思いで前を向いて進むことができます。

本当に有難うございます。

代表取締役社長 小山雄三

コトのはじまり

ハイヒール

世界で最初のハイヒールは、16世紀にペルシャ人の兵士のために作られました。その目的は、騎兵隊が馬上で弓矢を放つとき、足をしっかりと固定するためだったのです。

その後、ハイヒールは1600年代に入ってヨーロッパへと渡ります。その頃は、主に上流階級の男女

が履いていました。

ハイヒールが上流階級だけのものだったのは、ハイヒールを履くと歩きづらくて仕事にならないので、仕事などする必要の無い人間にしか需要が無かったからです。

男性がハイヒールを履かなくなった理由は、女もハイヒールを履くようになったため、男性独自のステータスを示す意味合いが薄れたからだと言われています。



創業明治30年 仕出し・宅配の鶴鳴館

鶴鳴館

鶴家

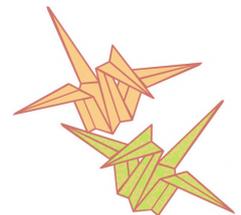
☎ 099-294-2500

〒891-1304
鹿児島市本名町 855-2

Mail : yuzokakumei5523@gmail.com

URL : <http://cataering-kakumei.com/>

受付時間 : 9:00~17:00
配達時間 : 10:00~18:00



編集担当 : 小山雄三・持留智子



1月・2月限定

はっはる

初春



◆ 初春弁当
・・・ 2,200円(お吸い物付)



◆ 初春弁当
・・・ 1,650円



◆ 初春弁当
・・・ 1,100円

初春辯當のご案内

2019年、2020年は日本を含め世界中が、
なにか重苦しい年となりましたが、

2022年は軽やかな明るい年となりますように祈念して
本年も初春弁当を準備いたしました。

新しい年の門出を、ご家族や親しい方々との語らいの場
にご利用いただけると幸いです。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



鶴鳴館

鶴家

鹿児島市本名町八五五―二

099(二九四)二五〇〇

